

〈令和5年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	サニーデイスーフクラブ片瀬西浜
事業名	安心安全な片瀬西浜サーフ&クリーン活動
補助金額	153,000円
事業の目的	
サーフィン後に5分程度ビーチクリーン活動する「サーフ&クリーン活動」を習慣化するサーファーを増やし、プラゴミやガラス片の無い安心安全な片瀬西浜海岸を実現する。未着手の海に浮かぶプラゴミの回収にも挑戦する。	
事業の内容と成果	
＜事業の内容＞ - 毎月：1～2回、平日にサーフ&クリーン活動（会員4～6人＋ゲスト参加1～6人）。 8月、9月10月、11月、3月にKBCC定例ビーチクリーン活動に会員2～3名人参加。 9月：サーファーズBBQイベント（ビーチクリーン活動）に会員3人参加し約20人に活動をPR。 11月：購入図書を使い海での勉強会を実施。 12月：千葉県南房総市への出張サーフ&クリーン活動（会員3人）。 3月：購入図書を使い海での勉強会を実施。新役員メンバーでのオンライン会議を実施。	
 ＜成果＞ 20名だった活動家が、30名まで増えた。それが2年4か月後に100名になるかは、30名の方々にかかっている。8月から3月まで、平日早朝サーフ&クリーン活動を10回開催、ここではゲストとして入会していない人を招聘したことにより、活動を体験し共感して頂く良い機会だった。当会メンバーは1名退会、3名の入会があった。制作したノベルティ（サーフキャップ、ステッカーなど）をゲストに配布し、今後の活動定着の足掛かりとした。鵜沼ビーチクリーンクラブ（KBCC）の月1回定例ビーチクリーン活動（毎回100名程度参加）にも毎回参加し交流を図った。これら活動を通じて、先に述べた30名が40名程度まで増える手ごたえを感じている。  	
事業を実施しての課題	
全体としては、納得のいく活動ができた。会員の意識も向上したと思う。これははじめてから予想していたが、活動日＝海ゴミが多い日とは限らず、特に冬場はほとんど海岸ゴミがないが、大雨や台風、南風の後には大量のゴミが押し寄せる事を再認識した。ゴミの量に対して、機動的に活動できるサーフ&クリーン活動家はまだまだ少ないし、自身もできていない。対策として、SNS等を活用して、前日に活動を呼び掛けるなど、活動メンバー個々の発信が考えられる。	